

公益社団法人 日本経営工学会
第 33 期第 10 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 21 日（土） 15:00～18:00

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和、二ノ宮滋、外館晃、篠田心治、松林伸生、伊呂原隆、稲田周平、
斎藤文、小西昭士、内田耕平、大久保寛基、皆川健多郎

（監事）高橋勝彦、後藤正幸

欠席者：（理事）岩崎昭

議決事項

1. 第 33 期第 9 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料 1-1)に基づき、第 33 期第 9 回理事会議事録(案)が提示された。報告事項「3. 第 33 期第 9 回「国際渉外委員会」理事会報告」のうち、シンポジウムの参加者から二ノ宮副会長を削除すること、大会参加料を 2000 円に修正すること、業務執行報告の項番を 9 に修正することを前提に、議事録として全会一致で承認された。

2. 入会、会員権利喪失承認の件

会員担当理事より、(資料：1-2)に基づき、正会員 7 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。また、入会者の特徴として紹介者経由が多いことから、各担当理事を含め、会員数拡大に向けて継続的に協力いただきたい旨の依頼があった。

なお、これまで会員数を 1 名過大に報告しており、本報告から修正している旨の報告があった。各月の入会・退会者数の差分をもとに会員数を算出していたことにより本事象の検知が遅れたため、再発防止として、各年度末にデータベース上の会員数の実数確認を行うことが報告された。

3. Best Presentation Award の新たな周知方法の導入の件

表彰担当理事より、(資料：1-3)に基づき、Best Presentation Award の新たな周知方法として、Web 受付番号取得画面、電子メール、大会ホームページの 3 点における周知が提案され、その実施及び対応費用 40,000 円の拠出が全会一致で承認された。

4. 支部運営細則変更の件

支部運営担当理事より、(資料：1-4)に基づき、関東支部の統合に伴う細則の変更案の提示、次年度の予算申請を統合後の「関東支部」として行う旨の報告があり、全会一致で承認された。また、支部毎の予算配分に関し、2017 年度中にアクティビティベースで実施する方向で検討を進める旨の報告があった。本件については、財務担当と連携しながら検討していくこととした。

協議事項

1. 会員名簿情報提供依頼プロセスの件

会員担当理事より、(資料:1-5)に基づき、セキュリティ管理レベルと費用面を考慮した会員名簿情報提供ルール案及び提供依頼フォーマットについて提案があった。

本提案については、その方向で対応する旨の合意がなされたが、会員名簿のみならず、学

会誌の著者や大会をはじめとする学会行事参加者の個人情報の管理についても考慮する必要があることから、「プライバシーポリシー」を学会 HP の各種規定類の項目に追加する形で公開することとした。

2. 来年度(H29 年度)の事業計画 (案)の件

3. 来年度(H29 年度)の予算(案)の件

財務担当理事より、(資料:1-6、別紙)に基づき、事業計画案及び予算案の説明がなされた。来年度の事業は基本的に次期理事会での検討・実施とするべきであるが、一方で現時点での予算案は赤字の幅が大きいことから、財務担当理事より各部門に対し可能な範囲で予算の見直しを行うよう周知することとした。なお、抜本的な収支改善のためには学会運営に関する大幅見直しの検討も必要だが、これについては次期理事会での検討事項とし、H29 年度の事業計画及び予算案には盛り込まない方針とした。

併せて、次期理事会への円滑な引継ぎのため、H29 年度の事業計画と予算の方針について会長名で文書を作成し会員に周知することを、掲載媒体を含め検討することとした。これらを踏まえた上で本件については、次回の理事会にて議決することとした。

報告事項

1. 退会について

会員担当理事より、(資料：1-2)に基づき、退会 1 名について報告がなされた。

2. 第三四半期(3Q)の予実算報告

財務担当理事より、(資料:別紙)に基づき、第三四半期(3Q)の予実算報告がなされた。なお、実算は、計上タイミングにずれがあつて精緻化できていない状況であるが、事務局での業務運営を含めて管理上は意味のあるところであり、引き続き実施していくことが報告された。

3. 第 33 期第 10 回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料 1-7)に基づき、協賛行事、国際会議情報の公開サービス状況、APIEMS 関連事項、ICPR 関連事項、FMES シンポジウム、日本工学会、経営関連学会協議会等について報告があつた。なお、「9. その他」のうち、「第 9 回のシンポジウムの開催について、」以降の文言は不要のため削除する旨、報告があつた。

また会長より、APIEMS2019 について、日本、ベトナム、インドが立候補しており日本が有力であるとの見通しが報告された。その一方で、日本は金沢が候補地となっているが、アクセスや宿泊場所の準備等に課題があることから、予算も含めて状況確認している旨の報告があつた。確認の結果を受けて APIEMS の事務局に返答する旨が報告された。

4. 掲載料・別冊代請求一覧について

編集（論文誌）担当理事より、(資料1-8)に基づき、掲載料・別冊代請求について報告がされた。

なお、請求No. 0120-67-2E-11は、事務局から共著者に連絡済みであり、近日中に振り込みされる予定であることが報告された。

5. 機密資料の無断使用の指摘について

編集（論文誌）担当理事より、2013 年 7 月に公開された掲載論文において、機密資料の

使用の指摘があったため非公開とする措置をとった件について、本件に関する対応を開始して以降、著者・指摘者双方共に連絡がなく解決期限(2016年7月)を超過したことから、再度公開する方向としたい旨の報告があり、その方向で対応することとした。

6. 2016年秋季大会について

大会担当理事より、(資料:別紙)に基づき、2016年秋季大会の実施結果について報告があった。また、2016年大会の収支として、春大会、秋大会合計としては黒字であったが、秋大会としては僅かに赤字であったこと、その要因として会場利用料が高額となったこと及び参加者人数が減少したことが挙げられる旨が報告された。

7. 2017年春季大会について

大会担当理事より、(資料:別紙)に基づき、5月26日(金)、27日(土)に龍谷大学で実施する春季大会の概要について報告された。また、関西IE協会との連携に向けては、継続して協議することとした。

8. 2017年秋季大会について

大会担当理事より、(資料:別紙)に基づき、11月2日(木)、3日(金・祝日)にパシフィコ横浜にて開催する秋季大会について、実施概要及び予算が報告された。

9. EAST ASIAの共同セッションについて

大会担当理事より、(資料:別紙)に基づき、2017年秋季大会にて開催されるEAST ASIAの共同セッションについて、実施概要と収支予測について報告があった。本セッションの予算については、大会の予算とは独立とし、仮に赤字が発生したとしてもJIMA側で費用を補填しないこととした。またこのことを書面化し、EAST ASIA実行委員会に文書にて伝えることとした。

10. 次年度の事務局との契約変更について

庶務担当理事より、(資料:別紙)に基づき、事務局に委託している会員管理業務のうち、学生会員の資格確認を、現状のはがきからメールによる運用に変更し、これに伴い1件当たりの費用を300円から200円に減額したいとの打診が国際文献社よりあった旨、報告された。また理事会資料の作成について、現状1ページあたり800円の契約の見直しを庶務担当理事より国際文献社に要望したが、以前と異なり作業が電子化された一方で、事前配布版と最終版とで2回作成を行うようになったことなどを理由に単価の引き下げは難しいとの回答があった旨が報告された。これを受けて本件については、国際文献社の提案通りの方向で進めることとし、3月の理事会にて議決することとした。

11. 次期役員・代議員選挙について

庶務担当理事より、(資料:別紙)に基づき、次年度役員・代議員選挙に向けた経過報告がされた。代議員選挙においては、支部単位を見ると一部の支部において立候補者が定員に不足しているが、全体としては定員に充足していることから、これまで選挙後にやむを得ぬ事情から欠員が生じた場合に行った対応に準拠する形で、支部を跨いだ立候補も認めて進めることとした旨が報告された。

12. 『「技術士を目指そう」説明会』について

会員担当理事より今後の説明会の予定について報告された。加えて、説明会においては学会活動を紹介し、会員への勧誘も行っている旨が報告された。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印